

ときに人を死に追いやる裁判所の「お上意様」

裁判所職員？の差別発言 ブログ「裁判所職員のぶっちゃけ時事放談」

先日、「裁判所職員のぶっちゃけ時事放談」というブログで、家裁利用者を「キチガイ」と呼んでいるというメールが寄せられた。ブログの書き込みは2月

共同親権運動ネットワーク 宗像充

4日付けで、「今度こそ、家裁の人氣がないのは、テミス様に誓ってガチです」というタイトルのもの。見てみると、家裁裁判所利用者の当事者間の対立が

とが公式な手段だ。しかし、子どもと暮らす側の親がかたくなになると、子どもとは引き離される。こういった現象は片親疎外として日本でも知られるようになってきた。離婚の渦中、さらに子どもと引き離された当事者の心理的な負担は相当なものだ。実際、はくが知っているだけでこの四年、「敷地の外」で

子どもに会えない親、三人が自殺している。それ以外にもフランス大使館は、日本人との結婚で、三人のフランス人の別居親の自殺を発表している。家裁に行っても、子どもと会うという取り決めができる確率は約半分。月に一回以上の取り決めができるのは、さらにそのうちの半分となっている。それも二時

間ほどで、守られる保障はない。子どもに会いたいと相談に来た人にはこういう。「はくたちハエツッよ、ハエ」。期待して家裁に行くと、バシッと打ち落とされる。

家裁には約束を履行させるための強制力が弱く、結果、「実効支配」が「母性優先」よりも優先ルールとなっている。子ど

激しいことを指摘し、「当事者のキチガイ率も異常に高い」とあった。窓口や電話での当事者対応を例に挙げ、「お前のイカレ話を聞いていると、他の仕事が全部ストップしちゃうから、さっさと消えろ」という。自殺を図ろうとする当事者を、「裁判所でやられると、後始末が大変だから、止めてくれ。ああ、敷地の外でなら、いつでもどーぞ」とも言い放つ。ブログの副題は、「裁判所の一職員が勝手なことをしゃべるブログです」。「甲野太郎」名のブログは、実際に裁判所の職員が作ったかどうかは不明だ。とはいえブログには、裁判所の職員間の家裁評価や人事上の扱いなど、裁判所職員にしか知り得ないものも具体的に書かれている。そう思わせるに十分な内容だ。

はくたちは、主に離婚をきっかけに子どもに会うのが難しくなった親たちで会を作っている。子どもと会うためには、家庭裁判所に調停を申し立てるこ

もを持っていない親には、男女かわからず調停委員や裁判官は子どもを諦めさせる。母親は、「あなたまだ若いんでしょ、再婚して子ども生んだら」と言われ、父親は、「子どもが小さいうちは女が育てるのが当たり前」と言われたりする。昨年民法に「面会及びその他の交流」という文言が明文化された。改

正された5月、千葉家裁松戸支部の若林辰繁裁判官は、調停でその国会での審議を示した父親に、「法務大臣が国会で何を言おうと関係ない。国会審議など、これまで参考にしたことは一度もない」と言い放っている。

そんな家裁の現実なので、ブログの書き込み自体には「やっぱりね」と驚きはなかった。とはいえ、いいわけないので、別居親や、離婚家庭支援をしている二二の団体で3月5日に「裁判所職員の家庭裁判所利用者への差別発言を許さない共同声明」を公表した。翌日には最高裁判所に要請。昼休みには西門

で声明文を職員たちに配った。事前に新聞記者が問い合わせたのもあってか、要請では異例なことには最高裁から伝えて欲しいと文書が読み上げられた。何でも2月末ごろに、書き込みの「内容によっては、国家公務員法上の守秘義務に抵触する可能性があるほか、守秘義務に抵触しない場合でも、事件関係者を侮辱したり、誹謗中傷したりするような内容が含まれていれば、国家公務員法上禁止されている信用失墜行為に該当する」ともあるから、裁判所職員として法規を遵守することについて、職責を負っていることをあらた

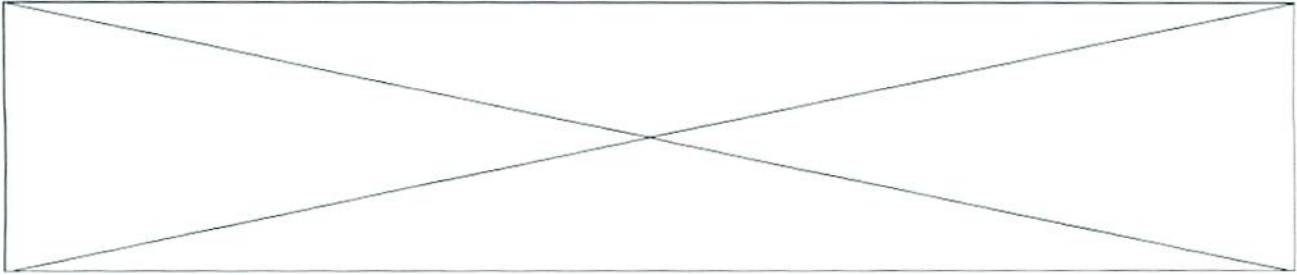
めて認識し、国民からの信頼が損なわれることがないように、ネット利用にあたって注意喚起を促す文書を、全職員に対して配ったという。書き込みタイトルの「テミス様」というのは剣と天秤を持つ正義の女神。本人いいことしたと思っている。そもそも「ガチです」と言うくらいだから、何の意味もないことだ。これで幕引きはありえない。「これじゃ受け取った側は何のことかわかんないじゃないですか。職員なら特定して処分すべきだし、職員じゃないなら裁判所の名前を語ってるわけだからやっぱり問題でしょう。このブ

ログの書き込みについて裁判所の見解を公表しないと」と出てきた職員に言った。「法律村」の掟に忠実かどうかより、「聞きたいのはあなたの考えよ」。だいたい事前に何度も電話しているのに、担当の職員すら出てこない。

翌日には、書き込みだけでなく、ブログそのものがネット上から消えていた。3月14日、最高裁に対応を問い合わせると、「検討中」との答えが返ってきた。この書き込み、裁判所全体を覆っている「お上意識」がボロリと表に出たにすぎない。「後始末がたいへん」なのは「敷地の中」だ。

裁判所職員のぶっちゃけ時事放談

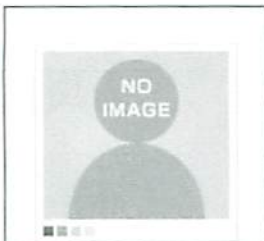
裁判所の一職員が勝手なことをしゃべるブログです。



お知らせ

- 🔍 「風邪がはやるとキンカンが売れる」のはなぜ?
- 📧 トイレに落下！恐怖のスマホデータ紛失に備えよ
- 📱 よしもと芸人の「ゾッと話す話」アプリ
- 📄 無料で安心、写真も便利なgooブログ♪
- 📷 OOLしてる画像くださいキャンペーン！

プロフィール



性別

男性

都道府県

自己紹介

ごきげんよう、甲野太郎です。…フフフ、同業界の方も歓迎しますよ。

携帯



📧 URLをメールで送信

今度こそ、家裁の人気のないのは、テミス様に誓ってガチです！

2012年02月04日 | 仕事

家裁は「書記官の墓場」などと言われることがある。

離婚、相続、財産分与、子の親権に遺言書の検認…。

扱う事件の性質上、当事者同士の対立が激しく、本当に「疲れて」しまう者が続出しているからである。

また、当事者のキチガイ率も異常に高いw

まともに相手にしていると、こっちまでどうかなりそうな当事者というのも結構いる。

半日以上窓口や電話で意味不明なことを喚いている当事者。

思いついたことを片っ端からしゃべっているようだが、もはや意味が分らんw

っていうか、お前のイカレ話を聞いてると、他の仕事が全部ストップしてしまうから、さっさと消えろw

相手をつけ狙って危害を加えようとしている当事者。

いくら脅したって、お前のもとに女が戻るはずねーだろw

っていうか、そんなだから逃げられるって、この期に及んでもまだ気付かないのかよw

自分の要望が通らないからといって、自殺を図ろうとする当事者。

自分の要望が通らない＝裁判所が相手の味方をしている、と完全に妄想中w

もうダメだと窓から飛び降りようとしたりして、本当に迷惑だ。

最新記事

みんなでバイトしようずwww

(^ω^)事務員さん、カワイイお

今度こそ、家裁の人気のないのは、テミス様に誓ってガチです！

papaさんへ

裁判官は裁判やってなんぼですよ！となくさめてみる

話し合いは、冷静に

不可能を強いるのは、酷である。

裁判所でやられると、後始末が大変だから、止めてくれ。

ああ、敷地の外でなら、いつでもどーぞwww

…え、みんなネタだろって？

いやいやいやいやいや。

ガチですwww